

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本経済は、なおも深刻な景気後退が続くものと推測され低成長時代に入った感がいたします。地方を取り巻く環境は地方分権改革により、地方の役割は更に拡大し、自主制、自立制が強く求められると認識しています。行政は住民の満足度を高め、多様性と創造性に溢れた豊かな自治を実現することにあります。政策として財政の健全化を第一とし、町債（町の借金）を限りなく減らす取り組みをします。

つぎに少子化対策、保育所並びに学校の耐震化と幼児、児童生徒の保育や教育環境の整備充実、町立病院をはじめ地域医療の維持、高齢者や障害を持つ方が生き生きと暮らすことのできる福祉の充実、地球温暖化対策として住宅用太陽光発電設置への補助制度の創設、地場産業、農業、商業、産業、観光の振興、クリーンな公共交通身延線を活かしたまちづくりの視点から、駅周辺の整備、黒沢バイパスの平成 26 年度完成と西八代縦貫道の整備促進、さらに県立市川高等学校の存続は町民の皆様と共に一丸となって取り組む最重要課題です。また、中部横断自動車道の促進や、リニア中央新幹線の峡南ルートが期待されます。

暮らしやすさ日本一をめざし極めて厳しい財政状況にありますが、勇往堅実に行政に取り組む決意です。

今後ともより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成 22 年 元旦

市川三郷町長 久保眞一